

内閣官房水循環政策本部より

令和 7 年度「水循環 ACTIVE 企業」認定

～今年で 2 度目の認定、水循環に係る教育啓発・災害への備え・協力を評価～



上下水道施設及び環境保全・衛生施設の設計・施工・管理を主な事業として展開する、水道機工株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：古川 徹、以下「水道機工」）は、この度、内閣官房水循環政策本部から水循環企業登録・認証制度実施要綱第 8 条第 1 項に基づき、令和 7 年度審査の結果、水循環 ACTIVE 企業の認証をいただきました。「災害への備え・協力」「社外への水循環に係る教育・啓発」などの取組を評価いただき、昨年に続き、2 度目の認定となります。

【水循環企業の認証制度について】

近年、企業においては、企業の社会的責任（CSR）や持続可能な開発目標（SDGs）の動向に加え、気候変動や水リスクなど、様々な課題への更なる対応が求められています。これらの背景を踏まえ、企業による多様な水循環に資する取組が実施されています。このような取組を積極的に登録・認証し、インセンティブを高めることにより、より一層企業の取組を促進することで、社会全体で水循環に向き合うことを目的に令和 6 年度 8 月から『水循環企業登録・認証制度』が創設され、今年で 2 度目の取組となります。

評価基準として、「水資源における森林整備・保全」「地下水への還元」「水循環に関する研究開発費の確保」など水資源に関する 14 項目を基準に、各企業の取組を評価いただいております。

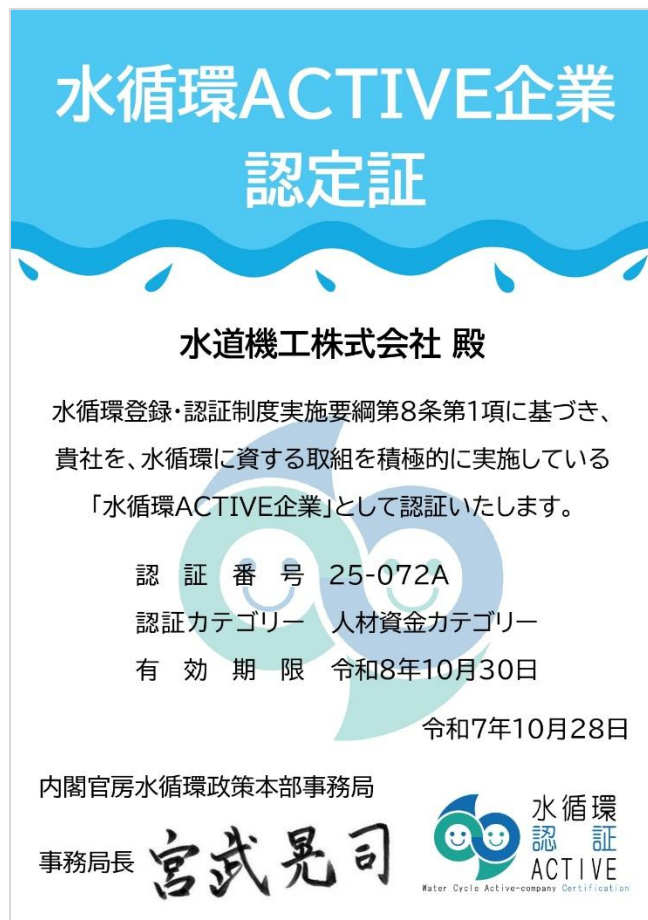
今年度は、水循環に資する取組を積極的に実施している企業を「水循環 ACTIVE 企業」（認証）として 145 社、取り組みに関心のある企業を「水循環 CHALLENGE 企業」（登録）として 3 社、計 148 社を水循環企業として登録・認証されています。その中で、この度、水道機工が「水循環 ACTIVE 企業」に 2 年連続で選出されました。

内閣官房水循環政策本部事務局「水循環企業登録・認証制度」URL：

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/mizu_junkan/certification/index.html

【当社の取り組みについて】

水循環 ACTIVE 企業に資する取り組み分類として、「災害への備え・協力」「社外への水循環に係る教育・啓発」「河川等における清掃への協力」の取組を評価いただきました。



■災害発生時の対応体制の整備と非常用造水機の配備・整備、及び災害協定の締結

内容：災害時に造水装置を現地に配備し、給水活動をサポート

19 台の非常災害用造水装置の整備、自治体等 22 団体との災害協定締結

災害時にはグループ会社と協力し、迅速に造水装置を現地へ配備して給水活動をサポートしています。2024 年には、より迅速な支援活動を実施するため社内体制を強化し「EWAT（イーワット）」という専門組織を設立しました。これにより、災害対応の専門スタッフの育成や組織化を進め、自治体がより支援要請を出しやすい体制を整えています。

また、災害対応専用機材 7 台を含む合計 19 台の非常災害用造水装置を整備しています。さらに、自治体等 22 団体と災害協定を結び、災害発生時には自治体と連携し、スムーズな復旧対応を実現できるよう努めています。



■小学生を対象とした水に関するワークショップの実施、小中学生向け冊子の配布

内容：水の大切さや災害時の備えについて子供たちへの出前授業を実施

小中学生に配布される地域情報誌に水道に関わる企業についての紹介記事を掲載

小学生を対象に、本社および近隣の小学校で水の大切さを学ぶワークショップを開催しています。授業では、水の循環や水道水が作られる仕組み、災害時の水の備えなど、児童参加型で水道や防災について学びます。さらに、非常災害用造水装置を実際に体験してもらいながら、造水装置の仕組みや災害時の水の使い方を伝えています。

小中学生に向けた仕事紹介冊子に自社記事を掲載・配布することで、「水の循環」にかかわる企業があることを知ってもらい、自分たちが毎日飲んでいる水が、どのような仕組みで自分のもとに届いているのかを伝える啓発活動を行っています。



水道機工株式会社
〒700-0001 広島県広島市東区 1-1-1
TEL: 082-242-1111 FAX: 082-242-1112
E-MAIL: info@suido-kiko.co.jp

私たちの仕事
「水」は人類が生きる上で欠かせないものです。みなさんがあつちで使う水は、自然の水からつくられ、浄水場でろ過・消毒され、水道管を通じて皆さんの家まで届きます。水道機工株式会社は、この「水の循環」を支えるために、浄水場の設備の維持・管理や、水道管の漏水調査・修理などを行っています。また、非常災害用造水装置の設置・保守も担当しています。

？ どうやって水をきれいしているの？
月や川から集めた水を、浄水場でろ過・消毒することによって、きれいな水道水が作られます。浄水場の設備は、24時間365日稼働しています。水道機工株式会社は、この設備の維持・管理を行っています。

？ 浄水場のしくみは、どうなっているの？
浄水場のしくみは、大きく分けて3つの工程に分かれています。①ろ過、②消毒、③貯水。ろ過では、砂や泥などを取り除きます。消毒では、塩素を使って細菌を殺します。貯水では、きれいな水を貯めておくためのタンクがあります。

？ 浄水場の設備は、どうやって維持・管理しているの？
浄水場の設備は、24時間365日稼働しています。水道機工株式会社は、この設備の維持・管理を行っています。定期的な点検や、故障時の修理を行います。

？ 非常災害用造水装置とは、どういった装置なの？
非常災害用造水装置は、災害時に備えて設置されている装置です。この装置は、自然の水をろ過・消毒し、きれいな水を造ります。水道機工株式会社は、この装置の設置・保守を行っています。

水道機工株式会社
〒700-0001 広島県広島市東区 1-1-1
TEL: 082-242-1111 FAX: 082-242-1112
E-MAIL: info@suido-kiko.co.jp

？ 普段使っている水道水、安心して飲めるのはどうして？
水道水は、自然の水からつくられ、浄水場でろ過・消毒され、水道管を通じて皆さんの家まで届きます。水道機工株式会社は、この「水の循環」を支えるために、浄水場の設備の維持・管理や、水道管の漏水調査・修理などを行っています。また、非常災害用造水装置の設置・保守も担当しています。

？ 浄水場のしくみは、どうなっているの？
浄水場のしくみは、大きく分けて3つの工程に分かれています。①ろ過、②消毒、③貯水。ろ過では、砂や泥などを取り除きます。消毒では、塩素を使って細菌を殺します。貯水では、きれいな水を貯めておくためのタンクがあります。

？ 浄水場の設備は、どうやって維持・管理しているの？
浄水場の設備は、24時間365日稼働しています。水道機工株式会社は、この設備の維持・管理を行っています。定期的な点検や、故障時の修理を行います。

？ 非常災害用造水装置とは、どういった装置なの？
非常災害用造水装置は、災害時に備えて設置されている装置です。この装置は、自然の水をろ過・消毒し、きれいな水を造ります。水道機工株式会社は、この装置の設置・保守を行っています。

？ お役立ちの設備やサービス
水道機工株式会社は、浄水場の設備の維持・管理や、水道管の漏水調査・修理などを行っています。また、非常災害用造水装置の設置・保守も担当しています。お問い合わせください。

【水道機工担当役員よりコメント】



水道機工取締役 鷹栖 茂幸（たかのす しげゆき）

この度、水循環アクティブ企業としての認定を受けましたことを、大変光栄に思います。

水は、私たちの事業活動において欠かすことのできない貴重な資源です。当社では、災害時の備えや協力体制の強化、未来を担う子供たちへの水循環教育、河川・砂浜清掃による環境保全活動など、様々な取り組みを推進してまいりました。今回の認定は、こうした全社員の地道な努力が評価されたものと受け止めております。

しかしながら、これはゴールではなく、スタートです。「水」に関わる企業として、持続可能な水循環への貢献は我々の重要な責務であると考えております。今後も地域社会や関係者の皆様と連携しながら、健全な水循環の維持に貢献し、地球に愛されるパートナーとして、きれいな水を追求します。

【水道機工株式会社とは】

「100 年先も人と地球をつなぐ情熱で、笑顔あふれる環境を技術と製品で創造し、社会に貢献します。」創業（1924 年）以来約 100 年間、人類と地球環境に欠かすことが出来ない水に関わる事業を展開しています。

- 会社名 水道機工株式会社
- 創 業 1924 年 8 月
- 創 立 1936 年 1 月
- 資本金 19 億 4,700 万円
- 社員数 918 名（2025 年 3 月 31 日現在・連結）
- 代表者 代表取締役社長 古川 徹
- 本 社 〒156-0054 東京都世田谷区桜丘 5-48-16
Tel. 03-3426-2131（代表） Fax. 03-3427-3388
URL <https://www.suiki.co.jp>